

2021年度しあわせ研究

多摩六都科学館との協働による多文化ルーツの児童等も想定した学習支援用ワークシート作成
研究員

村澤慶昭 高尾戸美
田中裕基 湯浅佳世子
木下佐和子 矢野礼美



2021年度は、文化庁の「地域と共働した博物館創造活動支援事業」(平成31年度より)に採択された多摩六都科学館と連携し、本研究テーマのもと、活動を行った。

具体的には、①多摩科学館が現在ホームページ上で提供している来館近隣小学校用のワークシートを再検討し、②従来の学年別に設定したワークシートの構成概念から見直したうえで、③低学年から高学年まで使用できる以下の2つのプロジェクト型ワークシートを作成した。新ワークシートは、

1. 身近なテーマ「自転車で出かけよう！」
2. 応用テーマ「月で暮らそう」

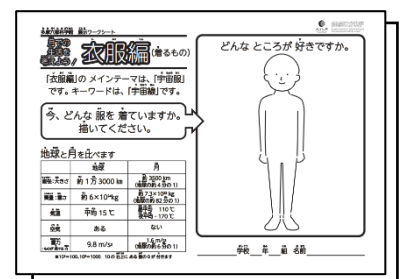
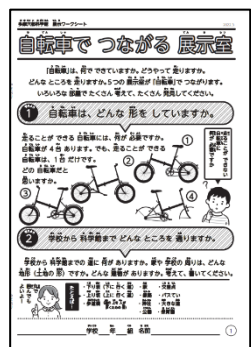
をテーマにしたプロジェクト・タスクベースのグループ協働型のシートになっており、科学館のコンテンツがより生かされている。

なお、この新たなワークシートは、科学館によって、やさしい日本語版の他、英語版、中国語(簡体字)版、ハンゲル版が整えられ、Web上で公開されている。

一方、ワークシートの作成と並行して、小学校理科の代表的な教科書、大日本図書『たのしい理科』小3～6年のテキストデータベースを作成し、テキストマイニングで特徴を概観した。学年や単元に特徴的な語彙が抽出できたため、これは、今後、「やさしい日本語」の運用や年少者日本語支援を進める上での基礎資料となる。

これらの活動には本学日本語コミュニケーション学科4年生や言語文化研究科の院生も自主的に参画し、学生・院生の視点や、留学生の視点から意見交換を行った。

2022年度は、この新ワークシートを実際に用いて、その利用の方法を検討し、内容の修正等を行う予定である。多文化共生社会の一拠点としての科学館の役割、そしてそのツールとしての活用が期待される。



従来のワークシート

(参照: <https://www.tamarokuto.or.jp/archive/>)

新しいワークシート

(参照: <https://www.tamarokuto.or.jp/blog/rokuto-report/2022/03/17/worksheet-multilingual-version/>)